

企業訪問 循環型最前線レポート

(株) 明輝クリーナー

収集運搬、中間処理から発生する

CO₂削減量を数値化

明輝クリーナーの新しい試み

(株) 明輝クリーナー

●国連認証済みカーボンオフセット付サービスを導入

地球温暖化対策は、日本が世界に約束した温室効果ガス25%排出削減を目標に、各企業でさまざまな取り組みが行われています。

そんな中、産業廃棄物の収集運搬や中間処理で実績を積む(株)明輝クリーナー(豊橋市若松町/小島

晃社長)は、国連認証済み排出権(CER)を用いたカーボンオフセット付産業廃棄物収集運搬、処理・リサイクルサービスを2009年1月からスタートさせ、排出事業所や産廃業界から注目を集めています。



●排出事業者の地球温暖化防止に貢献

このサービスは、国連のグリーン開発メカニズム(CDM)事業によって発行された排出枠を国連承認の国内プロバイダー(代理店:リサイクルワン/東京都渋谷区)を通して、年間400トン(2009年度)の排出枠を取得。取得した排出枠400トンは、同社の収集運搬や中間処理、事務所などで発生する年間排出量約950トンの42%にあたります。これにより、同社が取引する企業や店舗などの排出事業者にとっては、同社を利用することで、地球温暖化対策に貢献しているという大きなメリットが生まれるほか、地球温暖化対策推進法(改正温対法)では、調整後温室効果ガス排出量の報告書備考欄や環境報告書への記載ができ、CSRの推進にも活用できます。不況で廃棄物そのものが減少する中、顧客開拓の新サービスとして期待されています。





●今年度は排出枠500トンを取得し、発展的な取り組みを

このサービス導入に最初から携わった統括管理本部総務課の橋本英文氏は「多くのお取引先で、環境対策への意識は高まっています。聞いたこともなかった取り組みが、少しずつですが認知されるようになってきています。ただ自社だけでなく、お取引させていただく方々と一緒になって取り組んでいけるよう、さらなるサービスを提案・提供できるようにしていきたいと思えます」とお話しになりました。

同社は今年、2010年度はインドのバガス（さとうきびの絞り粕）発電、フィリピンの風力発電の2つのプロジェクトにおいて計500トンオフセットを取得しています。

カーボンオフセットについて、産廃業者で取り組んでいるのは全国でもまだ数少なく、中間処理（圧縮梱包、破碎、油水分離、中和など）までを対象とした取り組みはまれで、愛知県内では初めての取り組みです。また、新たなサービスの提供としてCO₂削減の数値化、見える化を進め、収集運搬や中間処理でのCO₂削減量を明確に提示した「CO₂算定報告書」を作成し、顧客に提供します。オフセットに必要な費用は全て同社が負担するため顧客に対して新たな費用負担はありません。

さらに同社では、清掃活動や不法投棄防止パトロ



ールなど地域の環境保全活動に積極的の取り組むほか、2001年には企業内の環境方針を策定し、資源使用量削減やISO14001を取得し、エコドライブにも取り組むなど、CO₂削減に努力しています。今回のカーボンオフセットサービスはその延長上にあり、産廃業界のひとつのモデルになるかも知れません。



インド/バガス発電プラント



フィリピン/Bangui湾に設置された風力発電